

議会が **もっと** 近くなる  
**市民の声** 第2弾  
**こども食堂**

燕市の「こども食堂」を紹介します！

吉田地区  
**吉田えん食堂**  
(吉田ふれあいセンター)



今年の7月から吉田ふれあいセンターをお借りし「吉田えん食堂」がスタートしました。

親子だけでなく、子どもたちだけでも来てくれて、みんなで楽しくおしゃべりして、お弁当やお菓子を食べている様子を見るのはうれしいです。

市の支援には感謝しています。今後はもっと多くの人に知ってもらい、子どもたちが安心して楽しめる居場所にしていきたいです。「議会だより」は読んでいなかったのですが、この取材をきっかけに読んでみたいと思います。



学生ボランティア **矢澤 聖也さん**



分水地区  
**分水きずな食堂**  
(浄土真宗本願寺派 勝敬寺)

様々な世代の方々が集まる交流の場として、令和6年に地域食堂を立ち上げました。地域の皆さんや分水高校ボランティア部の協力で支援が広がっています。お弁当を喜んでもらえることはもちろんですが、ボランティアの皆さんが生き生きと活動している姿を見ると、本当にうれしくなります。今後は、地域の皆さんと一緒に弁当を食べながらおしゃべりをする機会を増やして、さらに地域のつながりを深め、皆さんときずなを結んでいけたらいいと思っています。

代表者 **鈴木 智隆さん**



燕地区  
**おたがいさま食堂**  
(真宗大谷派重蓮寺)

子育てサロンの仲間たちと子ども食堂を始めたいと思い、平成31年1月5日にオープンしました。食器類は市内の企業から100人分を寄附していただき、現在でも使っています。

令和3年、コロナ禍で自分たちは何ができるかを考え、対象を「生活に困窮する方」や「ひとり親家庭の親子」にし、お弁当を80個手作りし、生活保護世帯には民生委員さんが配食を担っています。

今も毎月1回土曜日に実施し、部活や家から出られない中高生にも配ることができています。約15人のボランティアさんが大きな存在で、高齢の方はこの活動を楽しみに頑張っているみたいです。

これまで市民の方々や行政からも大きな応援をいただきました。心から感謝しています。



代表者 **関崎 智弥さん**

**From editor**

編・集・を・終・え・て

今号は「新燕市長」が誕生しての第一号である。鈴木市長には15年半、本当にお疲れさまでした。私たち議員は、新市長とともに燕市のさらなる発展を目指して頑張ります。そして、議会報が市民の皆さんから「待っていたよ」と声をかけてもらえるよう編集委員としても向上していけたらと…頑張ります。(タナカ・キン)



議会にみんなの声を！ 1分アンケート実施中。  
たくさんの声、お待ちしております！



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。  
**UD Font**

**Cover story**

今・号・の・表・紙

今回の表紙は「ふれあいステーション白山町」を利用されている方の貼り絵の作品です。職員が下絵を担当して、70代の男性が中心となり他に3人(70～80代)が協力して製作したとのことです。皆さんのチームワークがいいですね。



議会だよりは年4回(2月1日・5月1日・8月1日・11月1日)発行。各戸配布のほか、議会ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



「マチイロ」のダウンロードはこちらから